

出張報告書

下関市議会議長殿

令和 3年 12月 8日

職氏名 市議会議員 前東 直樹	用務 地方議員研究会に参加
期 間 令和 3年 12月 4日から 令和 3年 12月 4日まで	出張先 サンプラザ天文館 (鹿児島市東千石町2-30)

意見・調査事項

地方議員研究会主催「骨太の方針2021 特別研修」

1. 「骨太の方針2021」

【ねらい】

- 担当講師の川本達志氏は、広島県庁職員・廿日市副市長等を経験され、行政改革や財政の健全化、役所と議員との関わりについても造詣が深い。
現在、我が国も新型コロナ感染の大きな影響を受けつつ「ポストコロナの成長戦略」として経済再生運営の基本方針（いわゆる「骨太の方針」2021）が決定されたところである。そこで、我が市への財政・政策への影響等を含め、国の動向を調査・整理するため受講することとした。

【意見等】

- まず、骨太の方針のあり方の変遷を確認するとともに、国の動向が地方自治体へ及ぼす影響について確認した。
その上で、国の大好きな方向性について政策の概要が整理された。項目としては以下のとおりである。
 - ①国の財政健全化および地方財政計画
 - ②感染症の克服とポストコロナ
 - ③カーボンニュートラル
 - ④デジタル化及び自治体DX
 - ⑤新たな地方創生の取組
 - ⑥こども市と少子化対策 等
- 今年度の「骨太の方針」が菅政権下で策定されたことから、岸田政権に代わっての影響についても説明がなされた。自公政権という大きな枠組みは変わらないため、大勢は維持されつつも、今後の展開の中で重点項目は政権の独自色を出す中で注視することは必要となる。
今回の専門家の意見も参考にしつつ、厳しい地方財政の中にあっては、国の動向にも関心を持ちつつ、必要な政策についての提言や監督について、適切に判断・対応していきたい。

以上

緊急開催!

骨太の方針

2021

と防災減災特別研修

緊急開催!



緊急開催!

in博多

11/24.水

in鹿児島

12/4.土

10:00～12:30

骨太の方針パート1

- ・政府の方針と自治体との関係
- ・財政健全化の方向性とポストコロナ
- ・感染症の克服と経済好循環
- ・4つの原動力前編
- ・カーボンニュートラル
- ・デジタル庁と自治体DX

14:00～16:30

骨太の方針パート2

- ・4つの原動力後編
- ・新たな地方創生と分散型国づくり
- ・子ども庁と少子化の克服
- ・令和4年度の予算編成に向けて
- ・地方財政改革と見える化改革

緊急開催!! 緊急開催!! 緊急開催!! 緊急開催!! 緊急開催!!

in博多

11/25.木

in鹿児島

12/5.日

10:00～12:30

防災減災特別講座1

- ・自治体の防災に対する役割
- ・過去の災害から学ぶ
- ・法律や計画から学ぶ
- ・災害時に政治家かなすべきこと

14:00～16:30

防災減災特別講座2

- ・土砂災害に備えるために必要なこと
- ・大雨、地震、津波それぞれの防災減災の施策
- ・国からの財政措置についておさらいする
- ・効果的な質問質疑のために必要なこと
- ・防災、減災の質問のポイント

講師ご紹介

かわもと たつし
川本 達志

元・廿日市市副市長

1956年広島県生まれ。九州大学法學部卒。広島県庁において、公務員労務、基礎自治体の行財政指導、契約法務、県財政の健全化計画の策定などに従事。2005年4月に広島県廿日市市に移り、分権政策部長を経て2008年1月副市長就任。市の行政経営システム改革、中期財政運営方針の策定、廿日市市協働によるまちづくり基本条例策定などにあたる。副市長在職中に広島県立大学大学院修了。2011年12月退職。2012年3月から株式会社野村総合研究所 上級コンサルタント。2014年4月に独立。著書に「地方議員のための役所を動かす質問のしかた」(2017.7 学陽書房)